



ichinomiyaen

社会福祉法人児童愛護会 特別養護老人ホーム一宮苑

36号

発行 社会福祉法人児童愛護会特別養護老人ホーム一宮苑
千葉県長生郡一宮町一宮 389

TEL 0475(42)1180 FAX 0475(42)1182 ichinomiyaen@mail.goo.ne.jp

わたしたちは、利用者の皆様のその人らしい生活を大切にし、笑顔のあふれるぬくもりある生活ができるよう応援します。 一宮苑基本理念



餅つき大会

平成三十年最後の行事は餅つき大会！一年の締めくくりの行事に皆さんソワソワ、ワクワクしていました。

餅つきといえばお相撲さん！ということで、今年はお相撲さんが登場。思いがけないお相撲さんの登場に皆さん大爆笑。顔を真っ赤にし、涙を流すほど笑いが止まらないご利用者もいました。

そんな中、餅つき開始。苑長はじめ男性職員が一生懸命餅をつく姿を皆さん夢中になってご覧になっていました。

出来上がってきた頃に「もう出来ましたかかね？」と何うと「まだ、まだ」の声。疲れている職員をよそ目に餅のつき具合をきちんと確認し教えて下さいました。昔、餅つきをしたときの事をしっかりと覚えていたようでした。

餅をつき終えると、鏡餅にご利用者に丸めてもらいました。「おいしそうね」と話をしながら慣れた手つきで丸めていました。

その後のおやつはおしるこを召し上がり、大満足のご様子でした。



施設長だより

厚生労働省においては、改革の基本コンセプトとして「地域共生社会」の実現を掲げ、「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)や、『「地域共生社会」の実現に向けて(当面の改革工程)』(平成29年2月7日厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部決定)に基づいて、その具体化に向けた改革を進めています。



「地域共生社会」の実現に向けて(当面の改革工程)【概要】

平成29年2月7日 厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部決定

「地域共生社会」とは

◆制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

改革の背景と方向性

公的支援の『縦割り』から『丸ごと』への転換

- 個人や世帯の抱える複合的課題などへの包括的な支援
- 人口減少に対応する、分野をまたがる総合的サービス提供の支援

『我が事』・『丸ごと』の地域づくりを育む仕組みへの転換

- 住民の主体的な支え合いを育み、暮らしに安心感と生きがいを生み出す
- 地域の資源を活かし、暮らしと地域社会に豊かさを生み出す

改革の骨格

地域課題の解決力の強化

- 住民相互の支え合い機能を強化、公的支援と協働して、地域課題の解決を試みる体制を整備【29年制度改正】
- 複合課題に対応する包括的相談支援体制の構築【29年制度改正】
- 地域福祉計画の充実【29年制度改正】

地域を基盤とする包括的支援の強化

- 地域包括ケアの理念の普遍化:高齢者だけでなく、生活上の困難を抱える方への包括的支援体制の構築
- 共生型サービスの創設【29年制度改正・30年報酬改正】
- 市町村の地域保健の推進機能の強化、保健福祉横断的な包括的支援のあり方の検討

「地域共生社会」の実現

- 多様な担い手の育成・参画、民間資金活用の推進、多様な就労・社会参加の場の整備
- 社会保障の枠を超え、地域資源(耕作放棄地、環境保全など)と丸ごとつながることで地域に「循環」を生み出す、先進的取組を支援

- 対人支援を行う専門資格に共通の基礎課程創設の検討
- 福祉系国家資格を持つ場合の保育士養成課程・試験科目の一部免除の検討

地域丸ごとのつながりの強化

専門人材の機能強化・最大活用

実現に向けた工程

平成29(2017)年:介護保険法・社会福祉法等の改正

- ◆市町村による包括的支援体制の制度化
- ◆共生型サービスの創設 など

平成30(2018)年:

- ◆介護・障害報酬改定:共生型サービスの評価 など
- ◆生活困窮者自立支援制度の強化

平成31(2019)年以降:

更なる制度見直し

2020年代初頭:
全面展開

【検討課題】

- ①地域課題の解決力強化のための体制の全国的な整備のための支援方策(制度のあり方を含む)
- ②保健福祉行政横断的な包括的支援のあり方
- ③共通基礎課程の創設 等

チューリップの 球根を植えてきました

毎年四月に開催される白子町のチューリップ祭りの為、今年もチューリップの球根を植えるに、ご利用者と白子町役場へ行ってきました。お二人とも園芸をやっていた事もあり、土を綺麗に耕し、手際良く球根を植えて下さいました。

十一月だというのに汗ばむほどの陽気の中、楽しくお話しながら二区画、百二十球の球根を無事に植える事が出来ました。

帰り道はドライブも兼ねて海岸線を通り、途中海岸に立ち寄りました。穏やかな海を見ながら、温かいお茶とおやつを食べ、海に来れるなんて嬉しい。とても気持ちが良いわ」「また咲いた頃に見に行きたいわね」と会話も弾みました。

素敵な笑顔がたくさん見られ、充実した時間を過ごせました。

また満開になった頃、ご利用者と一緒に見に行きたいと思えます。





サンマ & 焼き芋大会

11月8日にサンマ大会、11月29日に焼き芋大会を開催しました。ご利用者からの人気が高い



イベントとあって、早くからポスターを掲示する等、職員も気合が入ります。両日とも天候に恵まれ、穏やかな秋空の下、中庭の一角で木炭を焚いて調理しました。焼き芋の準備の際はご利用者の皆さんにも手伝って頂きました。炭火にかけてしばらくすると、じっくりと焼かれたサンマや焼き芋の良い香りが苑内に漂います。匂いに誘われ、ソワソワと中庭の様子を伺うご利用者や職員達。出来上がった際は「やった!」「美味しそう」と歓声が上がりました。新鮮で脂ののったサンマに、甘くてホクホクの焼き芋。秋の味覚に皆さん舌鼓をうっていらっしゃいました。



クリスマス歌謡ショー

12月25日、クリスマス歌謡ショーを開催しました。今年も酒井秀光氏・小茂田ファミリーにお越しいた

だき、素敵な歌声と演奏を披露して下さいました。ご利用者の皆さんも、今年はお揃いの三角帽子をかぶって参加されました。エレクトーンの優雅な調べにのせ、「きよしこの夜」といった



クリスマスの歌から、「リンゴの唄」「旅の夜風」等の往年の名曲まで、沢山の歌を聴かせて下さいました。ご利用者の皆さんも歌詞カードをご覧になりながら一緒に口ずさんだり、手拍子でステージを盛り上げたりと、楽しんで下さったようです。



from



歌謡ショーの後は、クリスマス特別ランチとなりました。

味はもちろん、赤・黄・緑・白と彩りにも工夫を凝らした特別メニューです。デザートのカキは、切り株を模したブッシュドノエル！クリスマスの楽しい気分をさらに盛り上げる昼食になったのではと思います。



クリスマスランチメニュー

- ☆バターライス ☆白菜のクリーム煮 ☆ミネストローネ
- ☆もみの木型ハンバーグ トマトソース ☆ブッシュドノエル

デイサービス

～職員紹介～

デイサービスでの仕事は12月1日で、丸7年を終了し8年目に入りました。

地方公務員を早期退職し、のんびり毎日を過ごして1年過ぎようとしたときに東日本大震災が起きました。様々な報道の中に高齢者が避難所に居られずに車中生活で亡くなるといったことが報道されました。子ども達は守られているのになぜ・・・その時の気持ちがきっかけとなり介護の仕事に飛び込みました。

「現在の仕事のやりがいはいは？」と聞かれると、ここ何年かは「年代の違う同僚と共に学び共に協力しながら仕事ができること」と答えています。いつでも明るく本当に優しい仲間達です。それらのご利用者にも伝わっているのではないかと思います。

私は字手紙や絵手紙・習字等の趣味があります。機会がありましたら、ご利用者と一緒に取り組むことができたらいいなと考えています。

介護員 齋藤直子



ケアハウス

挿の本ホーム

11月20日に、茂原市にあるおせんべい工場の直売所『あられちゃん家』へ行ってきました。今回で2回目の開催となった企画でしたが、初めて行くご入居者もおおり、「どんなおせんべいが売ってるのかしら」と楽しみにされている様子でした。

当日は皆さん早くから支度を済ませ、正面玄関前でニコニコしながら待っていらっしゃいました。皆さんの期待を乗せ、明るく元気いっぱいに出発！



お店は平日にもかかわらず大盛況。ご入居者の皆さんも、手にカゴを持ち、おせんべいを選ぶ目は真剣そのものです。どれも試食が出来るので、「これも味がいいね～」と色々召し上がってからカゴへ入れていらっしゃいました。帰りの車の中でも、それぞれ買った物を教え合ったりとお話が弾んでおられました。今後も皆様にお楽しみ頂ける行事やイベントを企画していきたいと思ひます。



編集後記

広報第三十六号いかがでしたでしょうか。

記事作成にあたり一年を振り返りましたが、本当に月日の経つ早さを感じます。今年もご利用者の方々と過ごす一日一日を大切に、一人一人がその人らしい生活を送る事が出来るよう、関係を深めていけたらと思ひています。

本年も変わらぬご支援の程、よろしくお願ひ致します。

